

平成 27 年度事業報告書

社会福祉法人 福医会

平成 27 年 5 月 25 日

法人本部・管理部 27 年度事業報告

1. 法人事業方針

「医療と介護は密接に連携していなければならない。」という基本理念のもと、「切れ目のない医療と介護を総合的に提供すること」により、地域の皆様に健康で幸福な社会生活をお送り頂けるよう、地域と地方自治体の要望に基づいて当法人が運営する多種多様な事業／サービスをもって、包括的に支援することを目的とします。

2. 運営事業

第1種社会福祉事業

- 特別養護老人ホームさいかい
- 養護老人ホームさいかい

第2種社会福祉事業

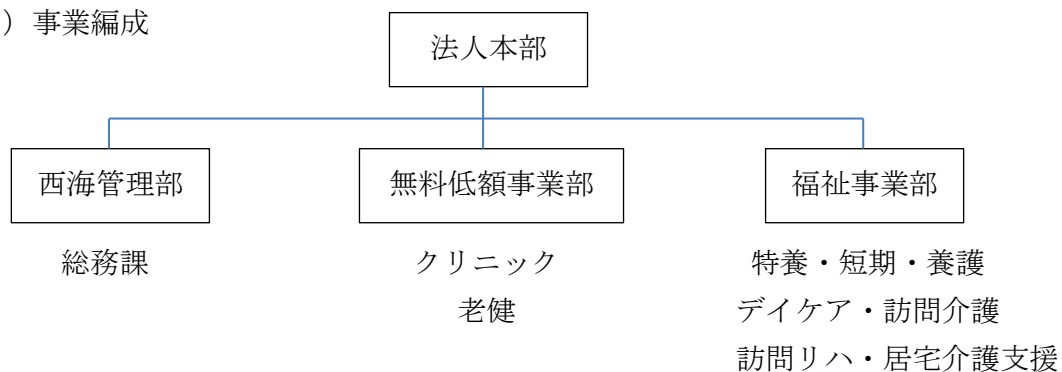
- 短期入所生活介護さいかい
- デイケア（通所リハビリテーション）さいかい
 - ・ 訪問リハビリテーション
- 訪問介護さいかい
- 居宅介護支援さいかい
- 無料低額診療事業の実施に拠る第2種社会福祉事業
 - ・ 介護療養型老人保健施設さいかい
 - ・ さいかいクリニック

3. 事業所在地

- ① 長崎県西海市大島町1876番地59（通称：西海医療福祉センター）
- ② 長崎県西海市崎戸町蠣浦郷2060番地6（養護老人ホームさいかい）

4. 組織

(1) 事業編成



(2) 役員状況

理事：定員6名 監事：定員2名

役職名	氏名	住所	備考
理事長	馬場裕基	東京都港区	(兼) 評議員
専務理事	山田直樹	長崎県佐世保市	(兼) 評議員
常務理事	徳永 翔	長崎県西海市	(兼) 評議員
理事	久間博史	長崎県長崎市	(兼) 評議員
理事	前田勝範	長崎県西海市	(兼) 評議員
理事	品田英昭	長崎県西海市	(兼) 評議員
会計監事	野口末裕	長崎県佐世保市	
業務監事	宮津柳二郎	長崎県西海市	

評議員：定員13名

役職名	氏名	住所	備考
評議員	馬場裕基	東京都港区	(兼) 理事
評議員	山田直樹	長崎県佐世保市	(兼) 理事
評議員	徳永 翔	長崎県西海市	(兼) 理事
評議員	久間博史	長崎県長崎市	(兼) 理事
評議員	前田勝範	長崎県西海市	(兼) 理事
評議員	品田英昭	長崎県西海市	(兼) 理事
評議員	村山一正	長崎県西海市	
評議員	村尾良子	長崎県佐世保市	
評議員	川添大輔	長崎県西海市	
評議員	力武征敏	長崎県西海市	
評議員	山口増治	長崎県西海市	
評議員	田中静二	長崎県長崎市	
評議員	斉藤美美	福岡県福岡市	

(3) 理事会・評議会開催状況

- ・平成27年5月25日 評議会 出席者 12名 欠席者1名
理事会 出席者 8名
- ・平成27年9月30日 評議会 出席者 13名
理事会 出席者 8名
- ・平成28年1月20日 評議会 出席者 11名 欠席者2名
理事会 出席者 7名 欠席者1名
- ・平成28年3月16日 評議会 出席者 9名 欠席者4名
理事会 出席者 8名

(4) 監査・調査状況

平成 27 年 5 月 21 日	法人内部監査 (会計・経理・決算監査/業務監査)
平成 27 年 9 月 16 日	九州厚生局 クリニック個別指導監査
平成 27 年 10 月 13 日	西彼保険所 給食業務 実地調査
平成 28 年 2 月 23 日	長崎県指導監査 特養さいかい
平成 28 年 2 月 25 日	長崎県指導監査 養護さいかい

(5) 職員入退職状況 (対象期間平成 27 年 3 月 16 日～28 年 3 月 15 日)

事業所名	入職者	退職者
特別養護老人ホームさいかい (短期含)	看護師 1 名 介護士 3 名	介護士 1 名
養護老人ホームさいかい	支援員 1 名	施設長 1 名 相談員 2 名 支援員 1 名 事務員 2 名
デイケアさいかい (訪問リハビリ含)	理学療法士 1 名	
訪問介護さいかい (居宅支援含)	介護士 1 名	介護支援相談員 1 名
さいかいクリニック	検査技師 1 名 作業療法士 1 名 看護助手 1 名 医療事務 1 名	医師 1 名 看護師 1 名 看護助手 2 名 医療事務 1 名
介護療養型老人保健施設さいかい	看護師 3 名 介護士 1 名	看護師 4 名 介護士 1 名 理学療法士 1 名 相談員 2 名
管理部総務課		課長 1 名 事務員 2 名
合 計	14 名	24 名

＝27 年度重点項目に係る取組＝

1. 財務基盤の安定化

27 年度より初期投資の償還金が 26 年度比 36% 増加することから、各事業所の年間収入計画の達成、併せて適切な経費執行が求められる状況であった。新会計基準移行に伴う経費按分見直しや、一部事業所における収入減があったものの結果としてはほぼ各事業者の運営努力により計画通りに推移した。

来年度は、業務委託費・賃借料等、支出の中でも大きな割合を占める固定費について業者の再選定や新規リースの適正な契約等など、効果の大きいものから順次見直していき財務基盤の安定化に努めていきたい。

2. 人材確保と職員の資質向上

27 年度は残念ながら予想以上の離職者数となり、それに伴う人員確保についても難航

した。元々人の出入りが激しい業種であるが、西海市における人材の資源容量の少なさ、立地条件の厳しさ等も相まって早急な対応が残念ながら出来なかった。職員の確保並びに育成については近年の法人の抱える重要な課題でもある。職員の定着並びに獲得に向け、将来展望や業務状況の改善、島外単身者への住宅（社宅）対策など、新たな面の方策を考慮していく必要があると痛感した年であった。また人材育成に関する委員会設置については、立ち上げは行ったものの本格的な稼働とはならなかった。

3. 機能的な組織運営、権限と責任の明確化

管理部運営委員会等において、ある程度の情報共有・意識統一が改善されつつあるも、任期途中で管理職の期中交代等もあり組織運営の成熟には程遠い結果となった。

運営会議において法人全体もしくは各事業内での諸問題等の報告、それに対する対策・解決策を積極的に話し合い、内容を深め改善・解決していく形に近づけていきたい。

各会計責任者に、予算案の作成・管理、事業予算内における予算執行権限などの移譲により、ある程度の各管理職のそれぞれの権限と責任の明確化は出来たと考えるが、トップダウンになりがちだった法人運営において、時にはボトムアップによる提案もあるような姿にもっていき活発な法人運営を今後行えればと考える。

特別養護老人ホーム さいかい 事業報告

(短期入所生活介護さいかい 事業報告)

特養さいかい 平成27年（4月から3月）における事業実績（計画対比）

	計画人数	実績人数	計画額	実績額	計画達成率
4月	49.0人	49.7人	18,665,724円	18,560,465円	99.44%
5月	49.5人	49.8人	19,466,002円	19,359,847円	99.45%
6月	49.5人	48.2人	18,853,697円	18,497,205円	98.11%
7月	49.5人	49.4人	19,516,834円	19,461,022円	99.71%
8月	48.5人	49.9人	19,153,518円	19,614,727円	102.41%
9月	48.5人	49.5人	18,522,483円	19,290,179円	104.14%
10月	48.5人	48.3人	19,102,686円	19,157,102円	100.28%
11月	48.0人	49.0人	18,274,147円	18,847,341円	103.14%
12月	48.0人	49.7人	18,949,748円	19,669,299円	103.80%
1月	48.0人	49.6人	18,943,648円	19,487,294円	102.87%
2月	48.5人	48.8人	17,922,710円	17,875,138円	100.45%
3月	48.5人	48.7人	19,281,294円	19,024,425円	98.67%
平均	48.7人	49.2人	18,887,708円	19,070,337円	100.98%
合計	584.5人	590.6人	226,652,491円	228,844,044円	

短期入所さいかい平成 27 年（4 月から 3 月）における事業実績

	計画人数	実績人数	計画額	実績額	計画達成率
4 月	7.2 人	7.1 人	2,622,733 円	2,544,245 円	97.01%
5 月	6.8 人	6.7 人	2,609,435 円	2,531,630 円	97.02%
6 月	6.8 人	6.7 人	2,524,437 円	2,442,185 円	96.74%
7 月	7.2 人	6.5 人	2,710,825 円	2,480,720 円	91.51%
8 月	6.5 人	5.8 人	2,493,187 円	2,149,875 円	86.23%
9 月	6.5 人	6.1 人	2,411,939 円	2,235,380 円	92.68%
10 月	7.2 人	7.6 人	2,710,825 円	2,847,110 円	105.03%
11 月	6.7 人	7.8 人	2,486,937 円	2,821,375 円	113.45%
12 月	6.6 人	7.4 人	2,531,936 円	2,791,908 円	110.27%
1 月	7.2 人	6.6 人	2,633,326 円	2,345,010 円	89.05%
2 月	6.6 人	7.3 人	2,366,940 円	2,742,240 円	115.86%
3 月	6.7 人	6.7 人	2,570,686 円	2,436,690 円	94.79%
平均	6.65 人	6.9 人	2,556,100 円	2,530,697 円	99.00%
合計	82.0 人	82.9 人	30,673,206 円	30,368,368 円	

＝27 年度重点項目に係る取組＝

1. ケア方法及び体制の充実と強化

(1) 職員への理念の浸透

法人理念、事業所理念を常に意識し、会議等の場や問題が発生した場合等の指標にしているが、職員により意識のバラつきが見受けられる。

ユニットケア理念の理解については、27 年度は不十分であった。本年度は、ケアサービス委員会内にユニットケア推進会議を設置。双方ともに、今後さらなる理解に努め、理念に基づいたサービス提供を行う。

(2) ユニットケアの確立を目指す

各委員会及び会議において、基礎となるケアプランを作成し、さらに細やかな日常生活の観察及び本人・家族等と情報収集・交換を密に行い、生活の記録に記すと共に、フェイスシートや 24 時間シートに反映させ、QOL 向上を実践できる。

(3) 充足した職員配置

出産や突発的な不慮の事故、長期療養等により退職・休職対象者が発生。申請上での欠員はないが、法人内で設けた人員配置基準は不足している状態。管理部との連携を図るが速やかな職員補充が出来なかった。職員の過不足による組織変更等において、業務時間や業務内容の見直し・精査を常に行い、業務負担軽減に努めた。

28 年度の課題目標としても設定し取り組む。

2. 稼働率を達成する

【特別養護老人ホームさいかい】

特別養護老人ホームさいかいの事業実績は当初計画以上に推移した。

1日平均入居数は、計画 48.7 名に対し、実績 49.2 名。入居稼働率は、計画 97.4% に対し、実績 98.4% を達成した。平均介護度は、3.77 度。計画額 226,652,491 円に対し、実績 228,844,044 円。計画達成率 100.98%。昨年度中に 14 名の入退居があったが、平成 26 年度と比較検討すると、入院者の人数と期間の減少が要因と考えられる。

【短期入所生活介護さいかい】

短期入所生活介護さいかいの事業実績は概ね計画通り推移した。

1日平均入居数は、計画 6.7 名に対し、実績 6.9 名。入居稼働率は、計画 83.7% に対し、実績 86.2% を達成した。平均介護度は、2.05 度。計画額 30,673,206 円に対し、実績 30,368,368 円。計画達成率 99.14%。

長期利用者減少と、減算加算である「長期利用減算」が要因となった。

1ヶ月以内の短期間利用者獲得については、居宅支援事業所・福祉関連施設・医療機関等の訪問活動による宣伝効果もあり、上半期から利用率も安定し、新規利用者獲得やリピーターも増加傾向にあった。

今後は、セミパブリックスペースとしての活用において多様な活動を行うことにより、新たな利用者獲得を目指す。

3. 各委員会・会議が明確な目標を立案し、達成する

設定目標に対して、各委員会・会議は概ね達成できている。本年度は、原因・要因分析を行い、より具体性のあるサービス内容に取り組む。

4. 入居者の住環境の向上

ご家族への面会の際や書面での通知等により、入居者の馴染みの物・自宅で使用していた物等、「生活感」としての空間を作り「自分の居場所作り」及び住環境整備の為、持ち込みが浸透し始めている。

施設移転して3年が経過し、建物及び設備等の補修が必要となった物、また施設からの持ち込みや長期使用している物品・備品についても、対応年数が超えている物の修繕・新規購入を行った。

5. 家族会の充実

法人全体での行事並びに介護福祉課単独での行事を開催することが出来た。また、家族会との活発な意見交換や企画遂行が出来なかったため、本年度家族会総会において、各ご家族へ協力を依頼し、イベントの開催並びにサービス提供の充実にご協力を要請した。

養護老人ホーム さいかい 事業報告

平成 27 年(4 月～28 年 3 月)における事業実績

	入所者数(名)	措置費収入(円)	1 名单価(円)
4 月	39	7,123,494	182,654
5 月	39	6,714,333	172,162
6 月	38	6,510,076	171,318
7 月	38	6,484,148	170,635
8 月	37	6,723,099	181,705
9 月	40	7,049,697	176,242
10 月	38	6,636,691	174,650
11 月	39	6,927,409	177,626
12 月	40	7,373,098	184,327
1 月	39	6,790,158	174,107
2 月	39	6,871,388	176,189
3 月	39	6,875,412	176,293
平均	38.75	6,839,917	176,492
合計	465	82,079,003	176,514

※ 1 名当たりの単価に差額が生じているのは、中途の入退所・及び入院によるものである。

＝27 年度重点項目に係る取組＝

1. 安定した施設運営

施設の入所に関しては、対象候補者の心身状態、経済的理由など各諸事情を鑑み、西海市が判定されるものであり、これにより入所者確保においては潜在的対象者の情報収集・外部（行政・関係機関）へのその情報提供が重要になってくる。まだまだ十分な外部機関との連携不足も考えられるが、近年の行政における措置控えの傾向があるのか、本年度の平均利用入所者数も前年同様約 39 名にとどまり、目標であった 42 名に到達できなかった。

引き続き入所者確保における活動を維持強化することが課題となった。

また施設長職において、緊急人事がありに任期中での施設長交代があった。

2. 安全で安心な生活環境の提供

当施設は建設から 28 年が経過し、老朽化が顕著になっている。入所者に安全な生活環境の提供の為、そこで本年度はまず非常時に備えた施設設備・入居者共用部における施設用品の修繕・交換等を主に設備投資を実施した。

- 非常電源設備の修繕
- 集会所床の腐食交換並びに食堂との連結部のフラット化
- 厨房大型設備の更新
- 共用娯楽・休憩スペースの家具類の更新、ナースコールの一部交換
- 非常誘導灯の交換・室内カーテンを防災仕様に交換

※ 一部改善に係る費用については施設整備資金の取崩を実施した。

在宅支援事業 平成27年度事業報告

(デイケアさいかい・訪問介護さいかい・訪問リハビリ・居宅介護支援事業さいかい)

3. 平成27年度(4月～3月)における各事業実績(計画対比)

○ デイケアさいかい

	年次計画金額	実績金額	差異	達成率
4月	5,210,510	5,055,093	-155,417	97.0%
5月	5,210,510	5,491,490	280,980	105.4%
6月	5,210,510	5,608,320	397,810	107.6%
7月	5,210,510	5,302,180	91,670	101.8%
8月	4,873,710	4,806,130	-67,580	98.6%
9月	5,210,510	4,877,463	-333,047	93.6%
10月	5,210,510	4,878,480	-332,030	93.6%
11月	5,042,310	4,982,900	-59,410	98.8%
12月	5,210,510	4,815,710	-394,800	92.4%
1月	4,873,710	4,075,390	-798,320	83.6%
2月	5,042,310	4,461,910	-580,400	88.5%
3月	5,210,510	5,232,773	22,263	100.4%
合計	61,516,120	45,817,766	-15,698,354	96.9%

=27年度重点項目に係る取組(デイケアさいかい) =

(1) 事業収入の安定化対策

今年度は、まず1日平均利用者数を26年度22名の実績から1名増の23名平均利用者数を目標として設定したが、結果として0.2名増の22.2名という利用者数に留まった。

利用者の体調不良や入院等による欠員などには各居宅事業所との情報交換等により状況把握に努めスムーズな利用再開による利用回数の安定対策などを実施したが介護保険制度改定による減算による影響を補う形をとれなかった。

(2) 新規利用者の獲得

まず、相談窓口の充実強化を図ること、地域ケア会議等の外部事業所との連携会議への積極的な参加を柱に、必要な情報収集や地域との交流を図り新規利用者の獲得につなげたいと活動したが、上半期は成果が数字として表れていたが下半期は結果として成果を上げられなかった。28年度も継続して上記活動は維持継続していきたい。

○訪問介護さいかい

	年次計画金額	実績金額	差異	達成率
4月	908,250	1,002,416	94,166	110.4%
5月	971,800	1,206,040	234,240	124.1%
6月	1,035,350	1,335,240	299,890	129.0%
7月	1,122,250	1,237,070	114,820	110.2%
8月	1,185,800	1,236,930	51,130	104.3%
9月	1,249,350	1,146,471	-102,879	91.8%
10月	1,336,250	1,218,527	-117,723	91.2%
11月	1,399,800	1,283,572	-116,228	91.7%
12月	1,463,350	1,356,940	-106,410	92.7%
1月	1,550,250	1,235,716	-314,534	79.7%
2月	1,550,250	1,236,890	-313,360	79.8%
3月	1,550,250	1,351,320	-198,930	87.2%
合計	15,322,950	14,847,132	-475,818	96.9%

＝27年度重点項目に係る取組（訪介さいかい）＝

1. 利用数拡大による事業収入の増収

発足して3年目を迎え、27年度は活動領域並びに利用者数の拡大を目指し介護報酬改定による減算予測をカバーすることを目指したが、当初の計画実績を達成することはできなかった。9月の居宅支援所の職員の退職に伴う後任探しが難航した時期に、利用者が他事業所に流れたりしたことや、利用者逝去に伴う現象を年度末まで回復することが出来なかった事、登録ヘルパーの確保並びに新規利用者の確保がなかなかうまくいかず、年度当初からの実績から向上しているものの、計画額の向上に対して追いつけない状況にあった。

実績として、年度計画1日平均20件（月平均延べ件数500件）を目標に掲げていたが、年度実績は1日平均12名（月平均延べ365件）にとどまった。

今後は登録ヘルパーの確保並びに新規利用者の安定確保を行う必要がある。

○訪問リハビリテーションさいかい

	年次計画金額	実績金額	差異	達成率
4月	425,928	274,691	-151,237	64.5%
5月	414,116	283,100	-131,016	68.4%
6月	425,928	447,570	21,642	105.1%
7月	425,928	367,814	-58,114	86.4%
8月	425,928	270,204	-155,724	63.4%
9月	425,928	379,294	-46,634	89.1%
10月	425,928	330,030	-95,898	77.5%
11月	414,116	245,482	-168,634	59.3%

12月	425,928	312,254	-113,674	73.3%
1月	414,116	289,356	-124,760	69.9%
2月	425,928	325,240	-100,688	76.4%
3月	437,740	391,352	-46,388	89.4%
合計	5,087,512	3,916,387	-1,171,125	77.0%

＝27年度重点項目に係る取組（訪リハさいかい）＝

訪問リハビリテーションさいかいにおいては、離島派遣事業を中心とした形態からの脱却を図れなかった。配属職員はデイケアとの兼務での稼働であり、新規受入には併設事業であるデイケアに影響が出ないようにするため、職員配置上、理想は専従職員が必要であるが、運営収支を考えると専従職員の配置と同時に利用者獲得が並行して行われないとバランスが取れない為、事業の安定を図れない。サービス・事業拡大における来年度以降も引き続き取り組む課題となった。

○居宅介護支援事業所さいかい

	年次計画金額	実績金額	差異	達成率
4月	214,950	246,900	31,950	114.9%
5月	225,370	232,950	7,580	103.4%
6月	235,790	242,570	6,780	102.9%
7月	263,180	210,405	-52,775	72.0%
8月	273,600	177,140	-96,460	64.7%
9月	284,020	233,915	-50,105	82.4%
10月	307,970	193,670	-114,300	62.9%
11月	307,970	148,990	-158,980	48.4%
12月	318,390	162,520	-155,870	51.0%
1月	318,390	177,140	-141,250	55.6%
2月	318,390	191,215	-127,125	60.1%
3月	355,870	217,730	-138,140	61.2%
合計	3,423,890	2,435,145	-988,745	71.1%

＝27年度重点項目に係る取組（訪リハさいかい）＝

居宅介護支援事業所においては、開設から1年が経過し本格稼働を本年度より迎え、徐々に法人内事業所、外部事業所との連携を図れるようになり、年度当初は順調な出だしであった。当事業所算定要件に順次当初は月39件上限の請求プランを確保擦る計画であったが、10月の担当職員退職に伴う移行作業が上手くいかず実績低下を招く結果となり、その後は低調な事業実績結果となった。来年度以降は事業所として月に35件以上の請求プランを確保できるよう地域の包括支援事業所と連携しながら新規獲得を行わなければならない。

さいかいクリニック平成27年度事業報告

平成27年度（4月から12月）における事業実績

（1）無料低額診療利用患者（生活保護受給者を含む）の受診状況

診療月	クリニック		生活保護受給者		無料低額診療利用		率 (%)
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
4月	680	32,841,216	22	209,950	1	2,800	3.38
5月	653	31,114,702	28	435,980	1	2,800	4.44
6月	725	34,536,243	35	424,780	2	8,340	5.10
7月	694	31,642,194	26	354,100	2	6,910	4.03
8月	694	30,618,712	29	343,420	1	2,800	4.32
9月	692	33,505,883	28	371,820	1	4,620	4.19
10月	675	33,665,560	26	278,830	1	2,800	4.00
11月	672	33,516,683	27	279,360	1	2,800	4.17
12月	695	41,198,412	31	1,524,238	1	2,800	4.60
1月	658	32,438,960	27	327,510	1	3,110	4.26
2月	715	27,628,308	31	345,500	1	3,390	4.48
3月	681	31,298,613	15	163,900	1	3,110	2.35
合計	8,234	394,005,486	325	5,059,388	14	46,280	4.12
平均	686	32,833,791	27	421,616	1	3,857	

（2）外来患者受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
内	568	556	563	643	546	574		
外	289	292	406	336	384	334		
眼	141	128	140	150	142	149		
リ	803	681	804	802	779	752		
透	550	532	560	565	532	555		
他	2	1	7	36	7	14		
計	2,353	2,190	2,480	2,532	2,390	2,378		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
内	574	609	664	592	592	671	7,152	596
外	324	219	182	192	199	245	3,402	284
眼	135	106	106	117	148	130	1,592	66
リ	811	766	766	620	706	816	9,106	759
透	566	548	589	548	563	588	6,696	558
他	46	251	251	9	7	15	646	54
計	2,456	2,499	2,503	2,078	2,215	2,465	28,539	2,317

(3) 外来（透析科）における受診状況（患者1人につき1件で算出）

診療月	患者	受診数	金額	1人あたり金額
4月	46	612	16,749,037	364,110
5月	46	616	17,973,266	390,723
6月	46	606	17,016,523	369,924
7月	46	614	17,800,111	386,959
8月	49	592	18,106,544	369,521
9月	47	607	16,794,849	357,337
10月	48	629	18,844,024	392,584
11月	48	600	18,376,685	382,848
12月	48	638	19,329,281	402,693
1月	48	609	18,670,586	388,971
2月	46	614	15,110,909	328,498
3月	46	663	17,115,248	372,071
合計	564	7,400	211,887,063	4,506,239
平均	47	617	17,657,255	

＝27年度重点項目に係る取組＝

1. 無料低額診療事業の更なる推進

生活保護受給者とあわせクリニック全患者の1割以上を占めることにより実施することができ的事业であるが、平成27年4月から3月診療における当該利用率(件数ベース)については、4.12%と実施基準をみせていない。このことから、平成28年度は事業計画に掲げたが、法人事業所内における各施設利用者等に活用を推進し、診療報酬総額1割以上（金額ベース）の受診に繋がりたいと計画している。

2. 透析患者の利用推進

透析患者については、平成26年度は578名、平成27年度については663名の受診で前年比114%と順調に伸びてきている。これに伴い、平成28年1月から新たに個人用透析器を1台増台し、現在26台の個人用透析機設置とした。しかしながら、未だ西海市在住の方であっても遠方（長崎市や佐世保市）に受診している患者もいることから、医療ソーシャルワーカーを中心に行政との連携を密に取合うなど受診に繋げ、必要に応じ機器の増台を検討していく。

3. 請求誤り等を無くした健全な運営

平成27年4月診療分以降の請求誤りにつきましては、医事課職員の知識向上並びに簡易ではあるが審査傾向の分析が行われてきており、請求誤りについては減少傾向にある。

今後も引き続き要点に注意しながら日常業務に取り組んでいく。

4. 効果的な送迎バスの運行

外来送迎に係るバス運行については、随時、送迎ルート及び時間等の変更を行っており、ほぼ満員の乗車をいただき効率的な運行ができています。今後も患者の利便性並びに曜日ごと及び午前午後の受診患者数の均等化が図れるように運行していく。

5. 地域への貢献

このことについては、地域医療を担う当法人にとって永遠の課題だと考えている。平成27年度は直接実績に繋がる動きというものがあまりとれていなかった。本年度は患者や地域企業から要望が多い診療科を受診いただけるようにドクターの調整等含め行ってきたいと考えている。また、地域の行事時等においても積極的に貢献していききたいと考えている。

6. 休診時における検査体制の確立

クリニック休診時等においても最低限の検査等が実施できるように、看護師を対象に夏冬の2回、使用医療機器に係る操作訓練を実施。今後も患者における症状悪化の未然防止に努めるために定期的実施していく予定である。

7. 経費削減及び業務の効率化に向けた取り組み

ア 医薬品等の在庫管理

昨年4月末に適切な在庫状況等を把握できるよう在庫管理ソフトを導入し管理している。これにより、医薬品等の使用数量、発注数量、納品数量及び在庫数量など在庫管理において成果を上げた。

イ 超過勤務

特に医事課において、従事者の減少により超過勤務の短縮が図れていない。対応として3月からパート職員を増員配置し、レセプトデータに係る入力処理及び確認業務を定期的実施、今後の超過勤務時間の短縮に繋げていきたい。

ウ 人件費

検査室における検査技師数について、計画では2.5人以下体制に削減するとしており、現在2名で対応しておりますので計画は達成した。また、リハビリ室のPT不足については、昨年5月に作業療法士を採用し、予定の0.5人以上の定員増についても計画達成した。

エ 事務担当者

医療事務において各処理担当者が不在の場合であっても、処理が滞ることがないように3か月ごとにローテーションを行い不測の事態におけるバックアップ体制を整えることと計画していたが、前イの従事者の減少に伴い、運用に追われバックアップ体制までを整えることができなかった。

オ 診療費

昨年4月にレジスターを導入、これにより医療費に係る日々の入出金の管理が適切に行えるようになった。なお、「請求・支払額決定書」を新しく作成しており月別の診療報酬等に係る請求・支払額についても現状適切に管理できている。

介護療養型老人保健施設 さいかい事業報告

(短期入所療養介護 さいかい事業報告)

平成 27 年（4 月から 12 月）における事業計画と実績

定量目標	常時 37.5 以上の入所者数維持（稼働率 92.5%） 平均介護度 3.2				
	計画人数	実績人数	計画額	実績額	計画達成率
4 月	1,125	1,023	15,230,074	15,631,813	102.6%
5 月	1,163	1,025	16,088,740	13,719,051	85.3%
6 月	1,125	1,030	15,230,074	13,542,876	88.9%
7 月	1,163	1,040	16,088,740	13,626,719	84.7%
8 月	1,163	1,020	16,088,740	14,518,970	90.2%
9 月	1,125	1,039	15,230,074	14,604,966	95.9%
10 月	1,163	1,023	16,088,740	14,746,238	91.7%
11 月	1,125	1,019	15,230,074	14,154,843	92.9%
12 月	1,163	1,126	16,088,740	15,693,122	97.5%
平均	1,173	1,038	15,707,111	14,470,955	92.1%
合計	10,315	9,345	141,363,996	130,238,598	

平成 27 年度は平成 26 年度の状況の改善が図れず、上半期は事業計画を下回る運営となった。下半期より、窓口の明確化や他病院・居宅等への営業・説明等を行い、それに伴って徐々に状況は改善し、平成 28 年 1 月からは計画通りの水準に戻っている。

今後も状態の改善を図りながら現況維持を図りたい。

＝27 年度重点項目に係る取組＝

1. 共通重点項目

ア 加算算定の見直し

今年度より介護保険改訂があり収入減が予測される中、体制に関する加算の見直しをおこない、収入増には繋げた。平成 28 年度も実績を積んだ為、さらなる加算算定に繋げている。

イ 人員配置の見直し

介護職員の配置に関して増員し、出来ていない活動に繋げる予定だったが、人員不足により日々の業務に追われている状況が続いている。今後も職員の確保によるサービスの向上に取り組んでいく必要がある。

ウ 他事業所との連携調整

窓口の明確化を行い、他事業所の担当と直接話しをし定期的に連絡をするようになった結果、年度後半より利用者増の結果に繋がっている。今後も継続することで利用

者確保の維持に繋げる。

エ 人材育成への取り組み

人員不足の為、最低限度の研修育成にしか繋げることができなかった。またシステムを作ることもできなかった。

2. 組織体制作り

ア 体制づくり

今年度も中途の施設長交代、法人内の組織形態の変更等があり、安定した組織を作ることが出来なかった。不安定な状況は続いている為、今後も体制作りは継続して取り組む必要がある。

イ 運営面の意識強化

運営会議にて、参加職員の意識には繋がったと考える。今後は方向性等も明確にしながらか維持・向上に繋げる必要がある。

上記により受入のバリエーションや連携は図れるようになり、年度後期からの収入を持ち直した起因となった。ただし今後、これを維持・向上していくには更に体制を強化その上での取り組み等が必要となってくる。平成 28 年度は、安定した利用者確保を図る為、職員の充足を図りつつ、併せてサービスの質の向上に繋げていきたい。